



ユーザマニュアル
富士山会計 FINE 版 処理手順

2025/01/06
株式会社 HAYAWAZA

1. 内容

1. 内容	1
2. 事業所データの作成.....	2
2.1. 消費税情報の確認	2
2.2. マスター出力.....	4
3. 事業所の作成.....	6
3.1. 事業所データの新規作成	6
3.2. 事業所データの設定.....	13
4. 書き出し	16
5. 仕訳データの取込.....	23

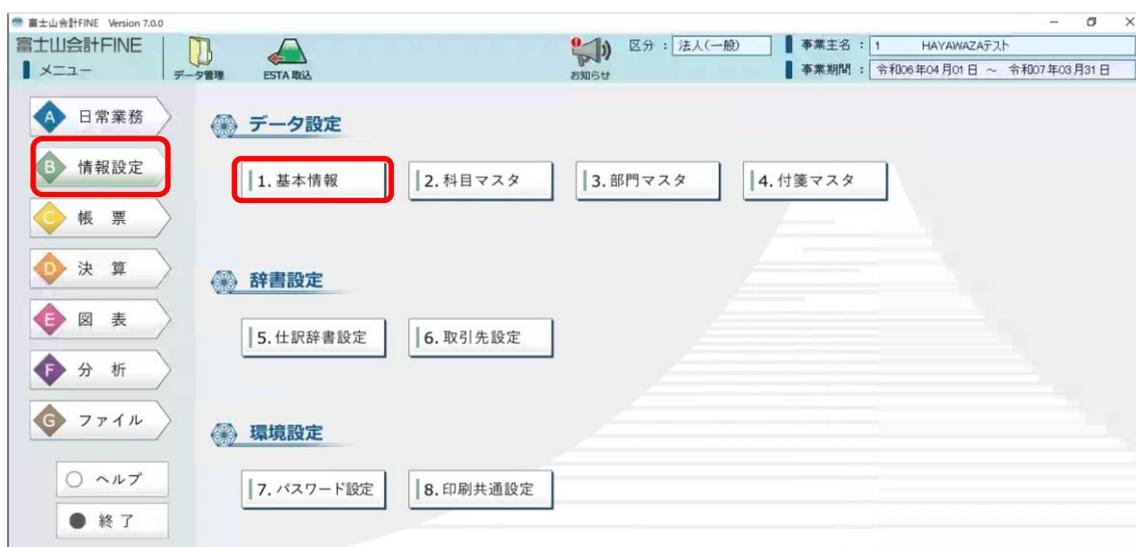
2. 事業所データの作成

2.1.消費税情報の確認

HAYAWAZA で事業所データの作成を行う前に、富士山会計 FINE で作成する事業所の消費税情報の確認と、勘定科目（補助科目）のマスターの出力を行います。

※富士山会計 FINE 版は弥生会計と違い自動連動は行いませんので、マスター登録を行わないとパターン登録を行う事が出来ません。

「情報設定」→「基本情報」の画面の以下の項目を確認します。



基本情報		消費税	
コード		課税方式	本則
事業主名	HAYAWAZAテスト	事業区分	簡易第1種
フリガナ		事業区分入力	スキップ
科目体系	法人(一般)	経理方式	税込経理方式
年表示	和暦	入力区分	内税
設立年月日	年 月 日	売上端数	切捨
期数	期	仕入端数	四捨五入
期首年月日	令和 06年04月01日	使用区分	
決算年月日	令和 07年03月31日	部門処理	全科目
月分表示	4月開始	伝票番号	使用しない
住所1			
住所2			
電話番号	- -		
データ担当者		データ締め処理	
担当者コード		データ締め処理	未了
メモ		完了日	年 月 日

HAYAWAZA で設定する消費税情報は、以下になります。

- 「消費税」 : 免税、本則、簡易
- 「経理方式」 : 税抜経理方式、税込経理方式
- 「入力区分」 : 外税、内税、別途入力
- 「端数処理」 : 切り捨て、切り上げ、四捨五入
- 「事業区分」 : 第一種（卸売業）、第二種（小売業）、第三種（製造業等）、
第四種（その他）、第五種（サービス業等）、第六種（不動産業）

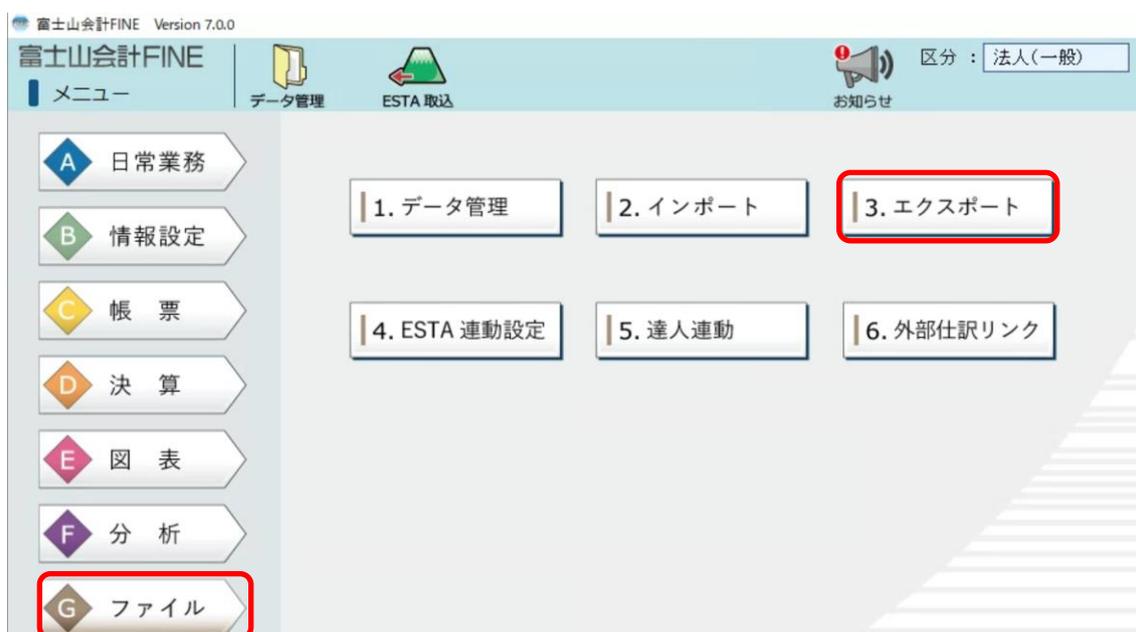
以上から該当するものを選択します。

※ HAYAWAZA では端数処理は仕入売上は同一となり、別々の設定はできません。

消費税情報の確認が出来たら「勘定科目」のマスターの出力を行います。

2.2. マスター出力

「勘定科目（補助科目）」のマスターの出力は「ファイル」→「エクスポート」画面から選択します。



選択すると以下の画面が表示されます。

「科目残高」を選択して、「次へ」と進みます。



エクスポート

科目残高エクスポート

対象データ 1 HAYAWAZAテスト 令和07年03月31日

出力内容

- 補助科目残高を出力する
- 部門別に残高を出力する
 - 部門別にシートを分けて出力する

残高出力期間

- 当期
- 前期
- 前々期

F11 Excel出力

F12 閉じる

「出力内容」：補助を使用したいときにチェックを入れる

「残高出力期間」：当期

上記の画面で「Excel 出力」を選択するとファイルに出力されます。

必要に応じてファイル名を変更し、任意の場所に保存をしてください。

※「部門」を使用したい場合は、

勘定科目（補助科目）マスタファイルと、

部門用の科目残高ファイルがそれぞれ必要となります。

勘定科目（補助科目）マスタ出力後、

再度「部門別に残高を出力する」のチェックを入れて出力をしてください。

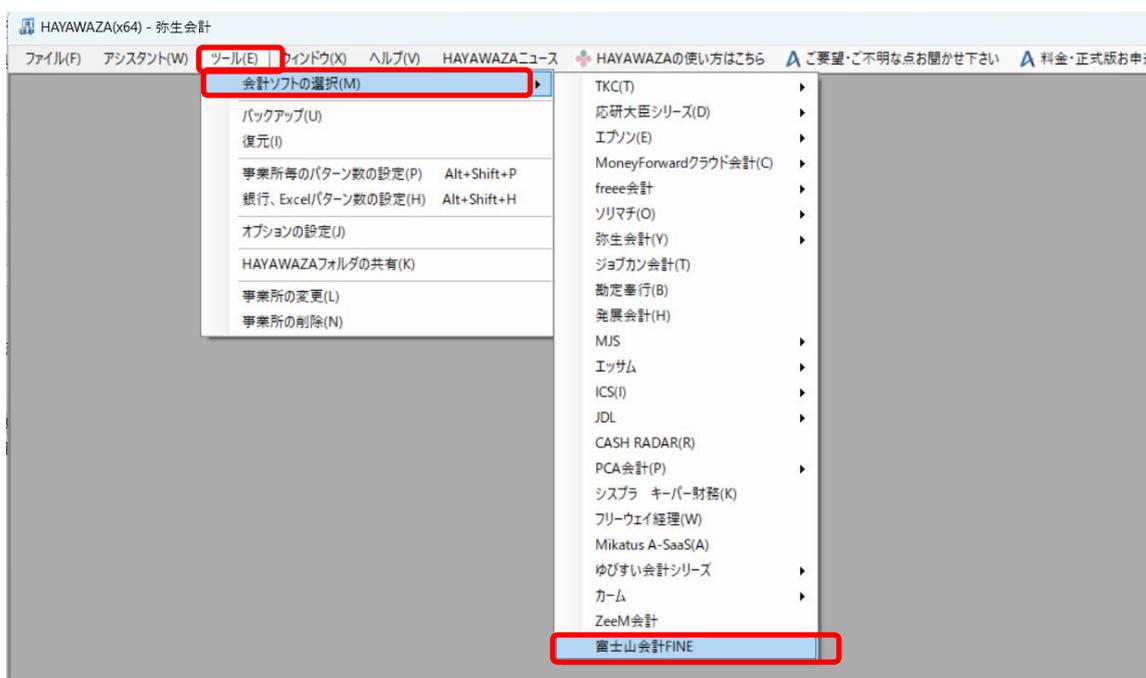
3. 事業所の作成

3.1. 事業所データの新規作成

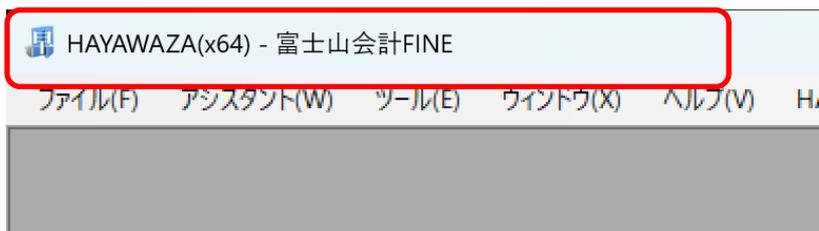
HAYAWAZA を起動し、左上のタイトルバーが「富士山会計 FINE」以外の場合、会計ソフトの変更をします。



富士山会計 FINE 版に変更するには、「ツール」から「会計ソフトの選択」で「富士山会計 FINE」を選択します。



会計ソフトの変更を行うと、左上のタイトルバーが「富士山会計 FINE」となります。



メニューの「ファイル」→「事業所の新規作成」をから事業所の設定を行います。

「事業所の新規作成」を選択すると、以下の画面が表示されます。

富士山会計FINE設定ウィザード - 事業所詳細の設定(1/3)

会社名 <input type="text"/>	
決算期 第 1 期	会計期間 2024年 4月 1日 ~ 2025年03月31日
課税方法 <input checked="" type="radio"/> 本則課税 <input type="radio"/> 簡易課税 <input type="radio"/> 免税	経理方法 <input checked="" type="radio"/> 税抜 <input type="radio"/> 税込
端数処理方法 <input checked="" type="radio"/> 切り捨て <input type="radio"/> 四捨五入 <input type="radio"/> 切り上げ	税入力方式 <input checked="" type="radio"/> 内税 <input type="radio"/> 外税
事業区分 <input checked="" type="radio"/> 第一種事業(卸売業) <input type="radio"/> 第二種事業(小売業) <input type="radio"/> 第三種事業(製造業) <input type="radio"/> 第四種事業(その他) <input type="radio"/> 第五種事業(サービス業) <input type="radio"/> 第六種事業(不動産業)	
諸口 科目コード: <input type="text" value="1234"/>	

▶ 次へ(K) > ✕ キャンセル(C)

登録する事業所名、決算期、会計期間、消費税情報、諸口コードを設定します。

富士山会計FINE設定ウィザード - 事業所詳細の設定(1/3)

会社名
HAYAWAZAテスト株式会社

決算期
第 1 期

会計期間
2024年 4月 1日 ~ 2025年03月31日

課税方法
 本則課税 簡易課税 免税

経理方法
 税抜 税込

端数処理方法
 切り捨て 四捨五入 切り上げ

税入力方式
 内税 外税

事業区分
 第一種事業(卸売業) 第二種事業(小売業) 第三種事業(製造業)
 第四種事業(その他) 第五種事業(サービス業) 第六種事業(不動産業)

諸口
科目コード: 100

会社情報の設定が出来たら「次へ」を選択します。

下記の画面では、HAYAWAZA で作成した事業所にパスワードを使用したい場合に設定をします。「管理者のパスワードを設定する」にチェックをして、パスワードを入力して下さい。（不要の場合は、この画面で管理者パスワードを省略して下さい）

富士山会計FINE設定ウィザード - 管理者パスワードの設定画面(2/3)

HAYAWAZAでは、事業所のデータのアクセスパスワードを設定することが可能です。
事業所のアクセスする「管理者」にパスワードを設定しますか？

管理者のパスワードを設定する

パスワードの設定

入力:

再入力:

注意：

このパスワードの設定は、事業所を作成した後でも設定することは可能です。
詳しくは、「ユーザ管理」をご確認下さい。

管理者パスワード設定画面で「次へ」を選択すると下記の画面が表示されます。
設定の確認画面です。設定内容が正しければ「登録する」を選択して下さい。修正する場合は、「戻る」を選択して修正して下さい。

富士山会計FINE設定ウィザード - 確認画面(3/3)

事業所情報

会社名: HAYAWAZAテスト株式会社
会計期間: 第1期(2024年04月01日 ~ 2025年03月31日)

消費税情報

課税方法: 一般
経理方法: 税抜
端数処理方法: 切り捨て
事業区分: 未設定

諸口

科目コード: 100

早業管理者パスワード

未設定

正しく登録されると完了画面が表示されます。

富士山会計FINE設定ウィザード - 確認画面(3/3)

事業所情報
会社名: HAYAWAZAテスト株式会社
会計期間: 第1期(2024年04月01日 ~ 2025年03月31日)

消費税情報
課税方法: 一般

諸口

早業管理

不設定

富士山会計FINE設定ウィザード

登録が完了しました。

OK

< 戻る(J) 登録する(Y) キャンセル(C)

事業所の登録が完了したら、事業所で使用する銀行、もしくは Excel のパターン数を設定します。

「登録可能パターン数の設定」画面では、「銀行パターン数の設定」と「Excelパターン数の設定」の2つの値を設定して下さい。

登録可能パターン数の設定

検索

表示オプション
 繰越済の事業所も表示する

事業所名	決算期	会計期間	銀行パターン(登録/設定)	Excelパターン(登録/設定)
HAYAWAZAテスト株式会社	1	R.06/04/01-R.07/03/31	(-/0)	(-/0)

データベース名: HAYAWAZAテスト株式会社(1期).mdb

登録日時: 2025年01月06日 15時16分51秒

更新日時: 2025年01月06日 15時16分51秒

銀行パターン数の設定
0 0から3の値が設定可能(現在の設定パターン数: 0)

Excelパターン数の設定
0 0から55の値が設定可能(現在の設定パターン数: 0)

全事業所のパターン数をリセット(J)

全事業所の登録パターン数を更新する(K)

エクスポート(J) ファイルを選択して開く(K) 設定する(Y) キャンセル(N)

注意：

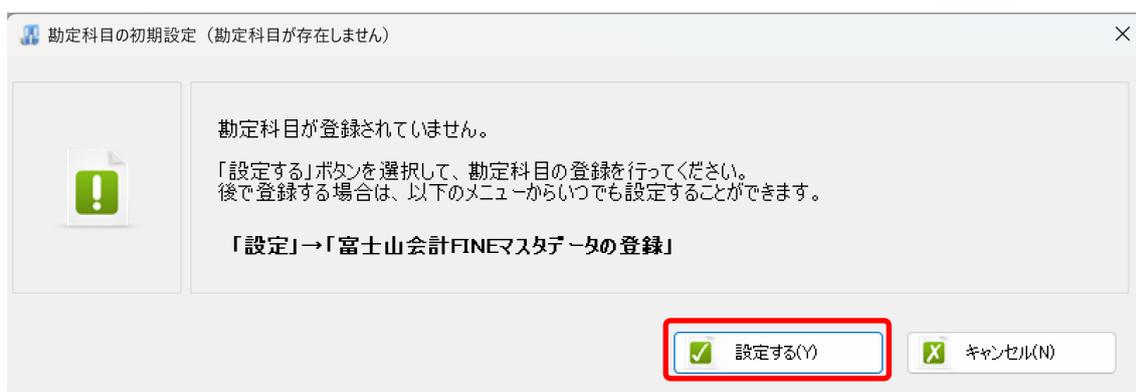
登録可能なパターン数は、「ヘルプ」⇒「ライセンス情報」で確認して下さい。体験版ライセンスには、銀行パターン、Excelパターンとも「10」となっております。

上記の画面で設定したパターン数は、後で変更することが可能です。詳しくは、「登録パターン数の設定」をご確認下さい。

パターン数を正しく入力し「設定する」ボタンをクリックすると、マスタファイルの登録画面になります。

3.2.事業所データの設定

事業所の作成およびパターン数の設定が完了すると、以下の「勘定科目の初期設定」画面が表示されます。(マスタ登録後は表示されなくなります)



「設定する」を選択するとマスタデータの登録画面が表示されます。
富士山会計 FINE で出力したマスタファイルを画面上にドロップします。



データをドロップするとデータのファイル選択画面が表示されます。

画面上部にはドロップしたデータファイルが一覧で表示され、画面下部にマスタデータのプレビューが表示されます。複数のデータをドロップした場合は選択したマスタファイルの内容がプレビュー画面に表示されます。

ファイル一覧でチェックをつけたデータが登録の対象となりますので、必要なデータにチェックをつけます

富士山会計FINEマスタファイル読み込み - マスタファイルの選択

以下の一覧から登録するファイルをチェックして、「登録」ボタンを選択するとマスタファイルの内容が登録されます。

ファイル一覧

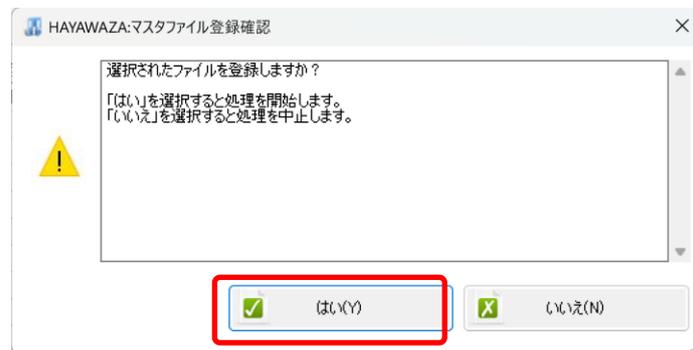
- (勘定科目一覧表)残高 1 HAYAWAZAテスト 令和07年03月31日hjo

マスタ内容のプレビュー

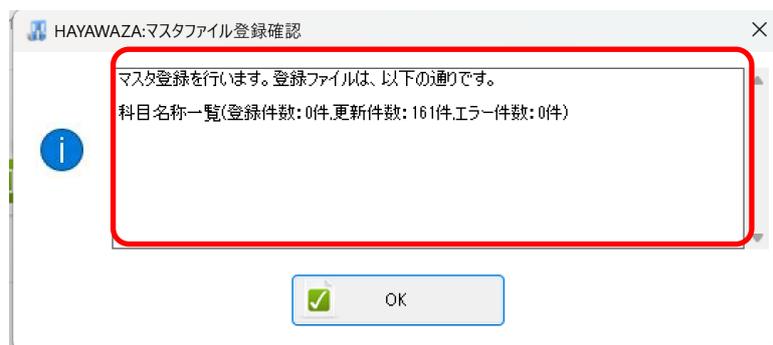
科目コード	科目名	補助コード	補助名	令和06年期首残...	令和06年04月	令
101	現金			0	1,043	2,0
190	小口現金			0	-1,000	-2,
99999	未確定			0	0	0
102	当座預金			0	0	0
103	普通預金	0	[その他]	0	-23,136	-2,
103	普通預金	1	楽天銀行	0	-1,000	-7,
104	定期預金			0	0	0
105	その他の預金			0	0	0
111	受取手形			0	0	0
112	売掛金			0	330,000	66,
114	有価証券			0	0	0
115	その他の当座資産			0	0	0

戻る(J) 登録する(Y) 閉じる(O)

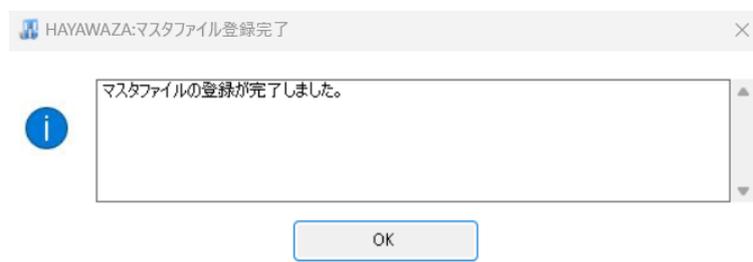
データファイルのチェックをつけ、「登録する」を選択すると確認画面が表示されるので、「はい」を選択します。



上記の画面で「はい」を選択すると、マスタファイルの登録が開始され、終了時に登録結果が表示されます。※下図は更新時の画面です。



上記の画面で「OK」をクリックするとマスター登録が完了し、以下の画面が表示されます



すべてのマスターの登録が完了したらパターンの登録、設定を行っていきます。

※詳しくはマニュアルを参照ください。

4. 書き出し

富士山会計 FINE 版では、自動連動は行われないので、HAYAWAZA でファイルを出力し、富士山会計 FINE で取り込み処理を行って下さい。

仕訳エディタに全ての仕訳を反映させ、書き出しを選択すると、以下の画面が表示されます。

この画面で書き出しオプションを設定することが出来ます。

R.06/04/01~R.07/03/31

書き出し件数 **57 件**

書き出しの対象期間

現在の会計期間すべて選択 会計期間外も対象とする

対象期間を指定する 2024年 4月 1日 ~ 2025年 3月 31日

書き出しデータオプション

仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)

すでに書き出された仕訳データを対象

出力後オプション

書き出した仕訳を削除する

ゴミ箱の仕訳を削除する

概要オプション 付箋オプション

概要への書き出しオプション

借方摘要1 貸方摘要1

借方摘要2 貸方摘要2

借方摘要3 貸方摘要3

連結文字: 半角スペース

前後の空白を削除 連続する空白を空白に置換

重複する摘要は出力しない

連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない

書き出す(Y) キャンセル(N)

※画面左上の書き出し件数には現在書き出し可能な仕訳件数が表示されています。

・書き出しデータオプション

「仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)」:

書き出し可能な仕訳の内、現在仕訳エディタに表示されている仕訳のみを書き出す場合にチェックを入れます。

「すで書き出された仕訳データを対象」:

一度書き出し済みの仕訳データを再度書き出す場合にチェックをつけます。

R.06/04/01~R.07/03/31

書き出し件数 **57 件**

書き出しデータオプション

- 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)
- すで書き出された仕訳データを対象

出力後オプション

- 書き出した仕訳を削除する
- ゴミ箱の仕訳を削除する

書き出しの対象期間

- 現在の会計期間すべて選択
- 会計期間外も対象とする

対象期間を指定する 2024年 4月 1日 ~ 2025年 3月 31日

摘要オプション 付箋オプション

摘要への書き出しオプション

- 借方摘要1
- 借方摘要2
- 借方摘要3
- 貸方摘要1
- 貸方摘要2
- 貸方摘要3

連結文字: 半角スペース

- 前後の空白を削除
- 連続する空白を空白に置換
- 重複する摘要は出力しない
- 連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない

書き出す(Y) キャンセル(N)

一度書き出した仕訳を再度書き出す事も可能です。仕訳エディタに書き出したい仕訳を表示させ、書き出しデータオプションのチェックを両方つけることにより再度書き出しを行うことができます。

・付箋オプション

書き出す仕訳に付箋をつけることができます。

選択した付箋は書き出す仕訳全てに適用されます。

The screenshot shows a dialog box titled "R.06/04/01~R.07/03/31" with a close button (X) in the top right corner. The dialog is divided into several sections:

- 書き出し件数**: A box containing the number "57 件".
- 書き出しデータオプション**: Two checkboxes: 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分) and すでに書き出された仕訳データを対象.
- 出力後オプション**: Two checkboxes: 書き出した仕訳を削除する and ゴミ箱の仕訳を削除する.
- 書き出しの対象期間**: 現在の会計期間すべて選択 and 会計期間外も対象とする. Below this is a date range selector: 対象期間を指定する, with a date range from "2024年 4月 1日" to "2025年 3月31日".
- 概要オプション**: A section titled "付箋オプション" which is highlighted with a red box. Below it is a "付箋オプション" section with a row of 14 colored circles: blue (selected), light blue, yellow, red, green, cyan, purple, pink, orange, grey, and black.

At the bottom of the dialog are two buttons: "書き出す(Y)" and "キャンセル(N)".

・摘要への書き出しオプション

HAYAWAZA では摘要を借方・貸方でそれぞれ3つまで設定できますが富士山会計 FINE の摘要は一つとなります。HAYAWAZA から出力する際は、6つの摘要を連結して出力します。

HAYAWAZA に入力されている摘要のうち、書き出す摘要を指定できます。HAYAWAZA で入力されていてもこのチェックが外れている場合は出力されません。摘要は「借方摘要1～3」、「貸方摘要1～3」の順に連結されます。

R.06/04/01~R.07/03/31

書き出し件数 **57 件**

書き出しデータオプション

- 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)
- すでに書き出された仕訳データを対象

出力後オプション

- 書き出した仕訳を削除する
- ゴミ箱の仕訳を削除する

書き出しの対象期間

- 現在の会計期間すべて選択 会計期間外も対象とする
- 対象期間を指定する 2024年 4月 1日 ~ 2025年 3月 31日

摘要オプション 付箋オプション

摘要への書き出しオプション

- 借方摘要1 貸方摘要1
- 借方摘要2 貸方摘要2
- 借方摘要3 貸方摘要3

連結文字: 半角スペース

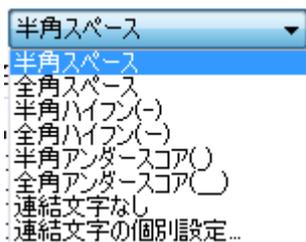
- 前後の空白を削除 連続する空白を空白に置換
- 重複する摘要は出力しない
- 連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない

書き出す(Y) キャンセル(N)

「連結文字」

摘要と摘要を連結する文字を指定する事が出来ます。

「連結文字」を選択し、以下のリストから指定します。



「前後の空白を削除」

摘要の空白を削除して書き出しを行います。

「連続する空白を空白に置換」

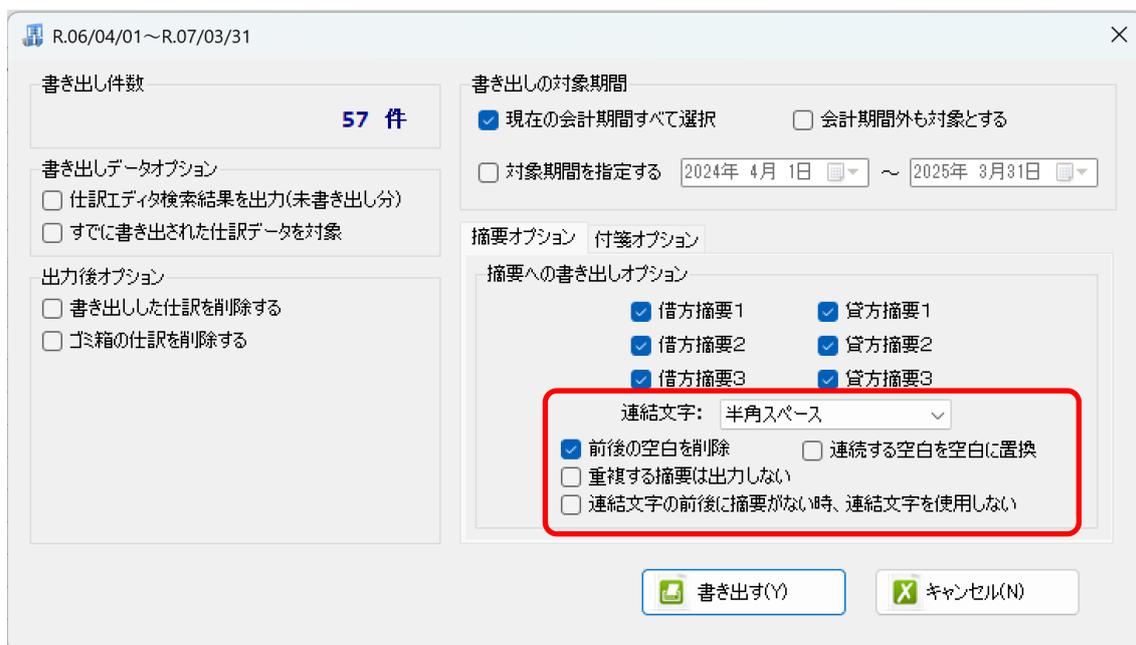
摘要を連結した際に、複数の空白を削除します。

「重複する摘要は出力しない」

同一の摘要が入力された場合、一方は出力しないようにします。

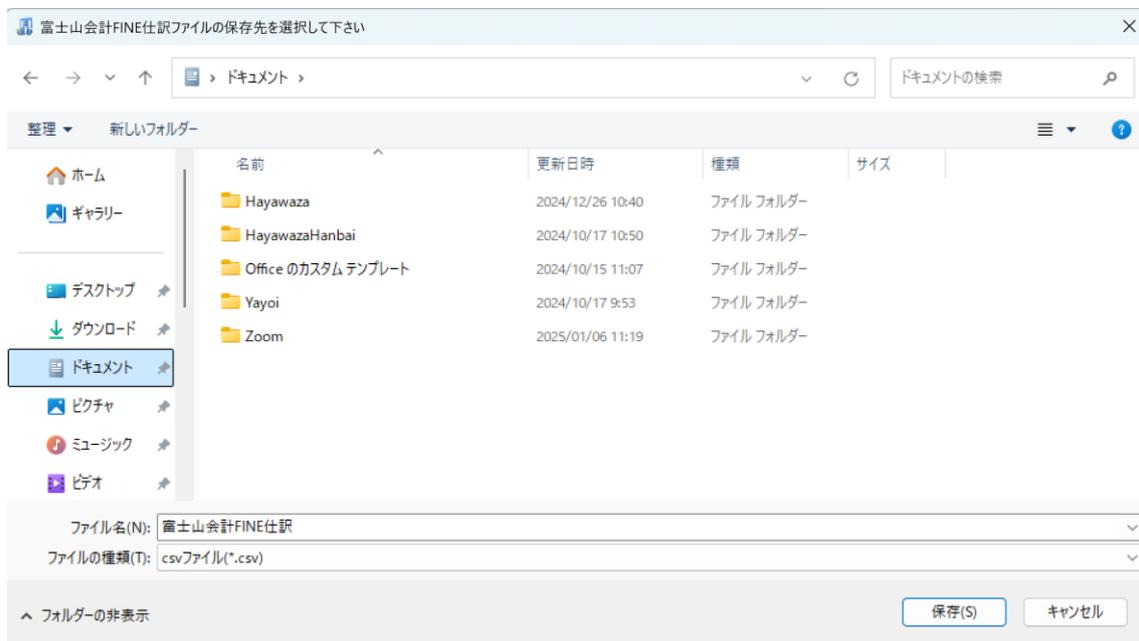
「連結文字の前後に摘要がないとき、連結文字を使用しない」

摘要に入力がない場合は、連結文字が出力されないようにします。



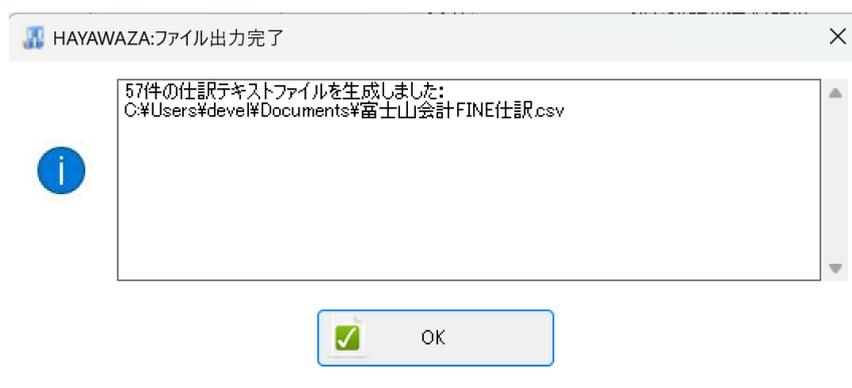
詳しくはマニュアルの「書き出しの初期設定」をご確認ください。

書き出し画面で全ての設定を確認し、「書き出す」を選択すると以下のファイルの出力先を選択する画面が表示されます。



保存先を選択し、「保存」を選択するとファイルの出力が行われます。
このときに出力ファイル名を変更することは可能です。

ファイルの書き出しが完了すると、以下の画面が表示されます。



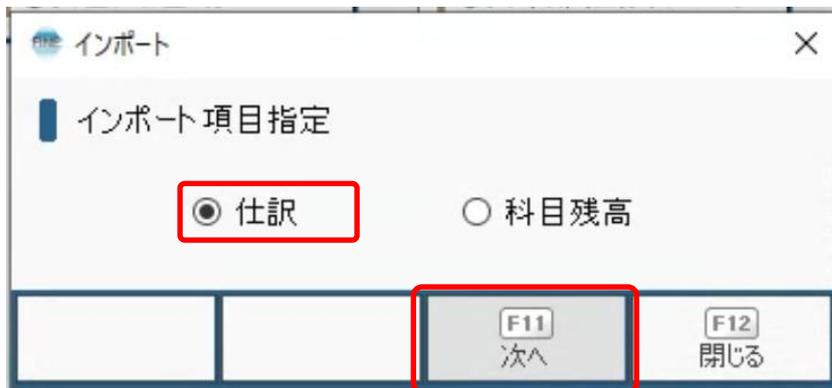
「OK」のボタンを押下すると、出力は完了です。

5. 仕訳データの取込

富士山会計 FINE の「ファイル」→「インポート」を選択します。

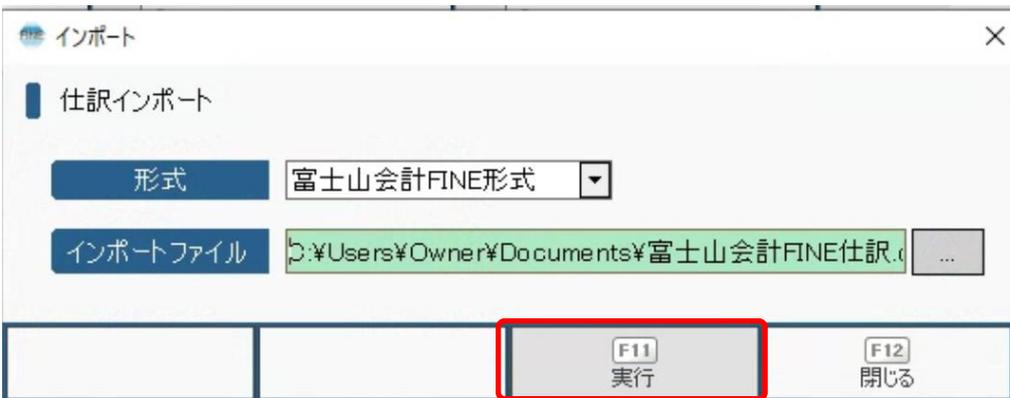
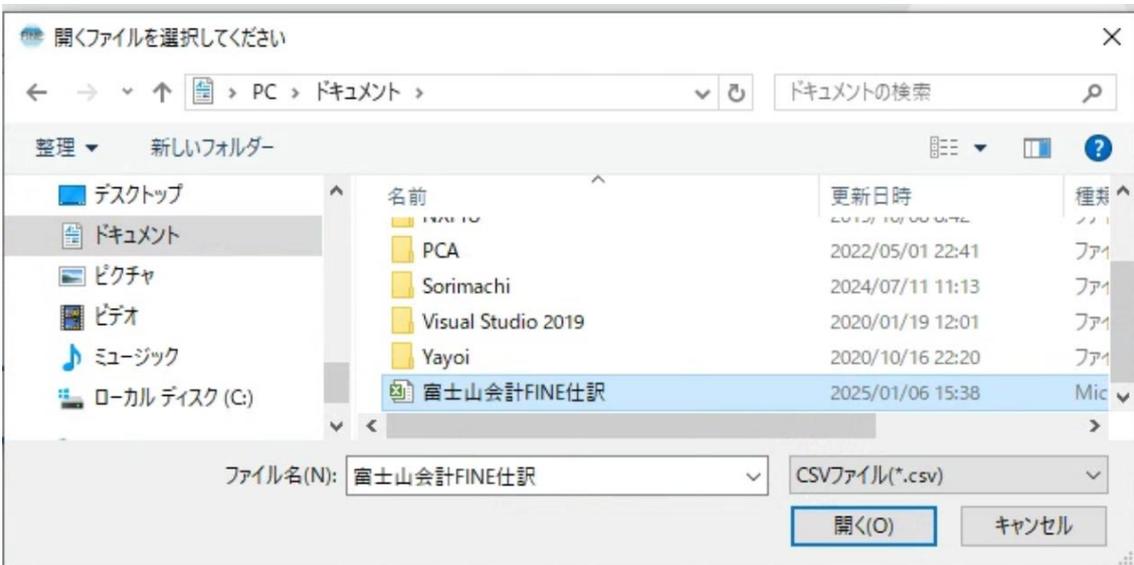


「仕訳」を選択し、「次へ」と進みます。





上記の画面が表示されたら「形式」に「富士山会計 FINE 形式」、
「インポートファイル」を選択して書き出したファイルを選択して開きます。



選択後、「実行」ボタンを選択して下さい。受け入れの処理が始まります。

完了すると以下の画面が表示されます。



上記の画面で受入処理が完了です。

※富士山会計 FINE では、税区分を空白でインポートすると、科目に紐づいた税区分がインポート時に自動判断されて反映されます。

以上。